

学区の概要

鎌ヶ谷市は千葉県北西部にあり、東は白井市、西は市川市・松戸市、南は船橋市、北は柏市に接し、村が町となり、市となった。

大正12年に北総鉄道（現東武鉄道）が、昭和30年には新京成電鉄が開通し、平成11年11月、新鎌ヶ谷駅に北総線、新京成線、東武野田線が相互乗り入れとなり、交通の便もよくなった。近年は都心や京葉工業地帯へのベッドタウンとして、人口増加の途をたどってきている。

学区は、栗野・佐津間・軽井沢の三地区からなる。軽井沢は学校から1 km～2 kmほど離れた農村地帯で人口は少ない。栗野は山林が広がるが、住宅も増えている。佐津間は、駅や県道にも近く、住民が密集し、人口が最も多い。また、海上自衛隊下総基地の滑走路がある。

通学路は車の往来が激しく、交通安全は本校の大きな願いであり、地域をあげて安全教育に取り組んでいる。

また、本校では「あさか」の異年齢集団による、縦割り活動を中心として「思いやり」や「人とのかかわり」を大事にしている。